

ワケギの郷土料理に適した地方品種の選抜

吉島豊喜・三原順一・田尻一裕・森田敏雅
(熊本県農業研究センター)Toyoki Yoshijima, Junichi Mihara, Kazuhiro Tajiri and Toshimasa Morita :
Selection of the local variety suitable for the home country cooking of Allium × wakegi

熊本地方では、江戸時代から郷土料理「ひともじのぐるぐる」が普及しており、各地でワケギが栽培されている。ワケギは栄養繁殖性でその多くが自家採種されているので、地方品種の分化が進んでいると思われる。「地産地消」の気運の高まりの中で、この郷土料理の消費拡大とワケギを特産野菜として普及を促すために、この郷土料理に好適し、収量特性に優れた系統の選抜試験を行った。

1. 材料および方法

1980年代以来、主として県内各地から25点を収集し、収集地名に因んで系統名を付し、当センター畑地圃場(細粒黒ボク土)で毎年9月下旬に植え付け、翌春4月下旬～5月上旬に収穫し、系統保存を行ってきた。この間に、各系統の作物的特性や「ひともじのぐるぐる」を意識して外見的な形状特性を評価し、有望3系統(‘熊本わけぎ1号’‘下関’‘90矢部 meA’)を選抜した。

試験1 2003年8月19日に、上記3系統を供試し、白黒マルチを被覆した畦に栽植距離40cm×20cmで植え付けた。肥料はN:P₂O₅:K₂O=3:2:3 kg/aを全量基肥で施した。11月18日に収穫して生育特性を調査し、また「ひともじのぐるぐる」に加工し、調味料を使わずにパネラー22名による食味調査を行った。食味調査は、‘熊本わけぎ1号’を基準にし、「非常に優れている」は+2、「優れている」は+1、「劣っている」は-1、「非常に劣っている」は-2、「同程度」は0として評価した。

試験2 2003年9月25日に、3系統を供試し、黒マルチを被覆した畦に試験1に準じて植え付けた。翌年3月4日に収量調査を行い、一部の株を残して抽苔並びに倒伏の早晚を調べた。

2. 結果および考察

試験1 収穫時の葉数は‘下関’が多く‘熊本わけぎ1号’が少なかったが、分けつ当たり葉数は‘90矢部 meA’が多かった。‘下関’は葉長・葉鞘長が短く、葉径・葉鞘径も細く、調製重は‘熊本わけぎ1号’と‘90矢部 meA’が勝った。葉色は‘熊本わけぎ1号’がやや薄く、葉先枯れは‘下関’では認められなかった(第1表)。一方、官能試験では味と総合評価で‘90矢部 meA’が劣ることが確かめられた。また‘90矢部 meA’は分けつ当たり葉数が多すぎて「ひともじのぐるぐる」の調理適性にも難点が認められた(第2表)。

試験2 3月4日の収量調査で、調製重は細柄であるが葉数・分けつ数の多い‘下関’が勝り、‘熊本わけぎ1号’がこれに次ぎ、‘90矢部 meA’が劣った(第3表)。「90矢部 meA」は不抽苔で経過し、倒伏も‘下関’や‘熊本わけぎ1号’より遅く、晩生であることが確かめられた。

以上の結果から、「ひともじのぐるぐる」に適した地方品種として‘熊本わけぎ1号’と‘下関’を選んだ。前者は良食味と年内収穫の多収性に、後者は細柄の形状と春先の多収性に特徴が認められる。

第1表 11月どり生育調査 (試験1)

系 統	葉数 (A)	分けつ数 (B)	A / B	葉長 (cm)	葉鞘長 (cm)	葉径 (mm)	葉鞘径 (mm)	調製重 (g)	葉色	葉先枯 指数
熊本わけぎ1号	72.6	4.9	14.8	51.3	7.5	8.6	12.7	426	61.0	0.6
下関	112.9	6.4	17.6	43.1	6.1	7.1	10.2	368	62.0	0.0
90矢部 meA	91.5	3.5	26.1	49.6	7.8	8.4	13.8	427	63.6	0.3

注) 20株調査, 葉色は SPAD502測定値, 葉先枯指数=無(0)~甚(3)で算出。

第2表 食味調査 (11月18日収穫)

系 統	外 観	香 り	味	硬 さ	総 合
熊本わけぎ1号 (基準)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
下関	0.18	-0.09	-0.03	0.18	-0.13
90矢部 meA	-0.28	-0.03	-0.52*	-0.15	-0.63*

注) パネル数=22, *=0.05水準で基準と異なる。

第3表 3月どり生育調査 (試験2)

系 統	葉数 (A)	分けつ数 (B)	A / B	葉長 (cm)	葉鞘長 (cm)	葉径 (mm)	葉鞘径 (mm)	調製重 (g)	葉色	葉先枯 指数
熊本わけぎ1号	89.0	17.0	5.2	30.2	8.8	10.3	11.2	320	68.2	0.0
下関	194.7	34.7	5.7	30.7	8.7	8.1	7.6	437	67.7	0.7
90矢部 meA	84.0	16.7	5.0	25.3	8.2	8.8	11.3	225	70.4	0.7

注) 20株調査, 葉色は SPAD502測定値, 葉先枯指数=無(0)~甚(3)で算出。